



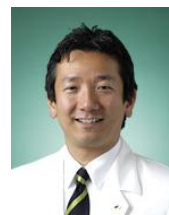
講師紹介

津田 武 (Takeshi Tsuda, MD, FAAP, FACC)	
Program Director 小児科セクション・リーダー	
<p>1984年信州大学医学部卒業。母校の小児科医局で5年間研修の後、臨床留学のため渡米。フィラデルフィア小児病院で小児科レジデント修了（1993年）、小児循環器科フェロー修了（1996年）。その後心臓の基礎研究に従事。現在デラウェア州にあるデュポン小児病院でスタッフ循環器医として日常診療、基礎研究、教育に従事。米國小児科および小児循環器科専門医。トーマス・ジェファーソン大学医学部小児科准教授。専門：小児科、小児循環器、先天性心疾患、心不全。研究分野：心不全と心筋リモデリング。</p>	

岸本 暢將 (Mitsumasa Kishimoto, MD, FACP)	
Co-Program Director 内科セクション・リーダー	
<p>1998年北里大学医学部卒業。沖縄県立中部病院にて初期研修後、在沖縄米軍海軍病院にてインターンを行い、2001年から臨床留学のため渡米。ハワイ大学内科にてレジデント終了（2004年）、NYU/Hospital for joint diseasesにてリウマチ膠原病科フェロー終了（2006年）。その後帰国し亀田総合病院リウマチ膠原病科にてプログラムディレクター。2009年8月から聖路加国際病院アレルギー膠原病科（成人、小児）勤務。東京大学・東京医科歯科大学・北里大学医学部非常勤講師も兼務。専門：リウマチ膠原病、一般内科、研修医教育</p>	

<内科>

大山 優 (Yu Oyama, MD)



1991年 日本大学医学部卒業後、聖路加国際病院内科レジデント、日本大学第一内科助手を経て渡米、トーマス・ジェファーソン大学内科レジデント、ノースウェスタン大学血液科、腫瘍内科クリニカルフェロー修了。米国の内科、血液科、腫瘍内科の各専門医を取得後、ノースウェスタン大学スタッフ医師、内科助教授となる。2006年より亀田総合病院腫瘍内科部長。専門：腫瘍内科、血液科、骨髄移植、出血と凝固、重症自己免疫疾患

金城 紀与史 (Kiyoshi Kinjo, MD)



1994年東京大学医学部医学科卒業。亀田総合病院にて初期研修、トーマス・ジェファーソン大学病院内科レジデント、マウントサイナイ医学部病院呼吸器・集中治療医学フェロー。滞米中にモンテフィオレ医療センター・ニューヨーク大学共催生命倫理・人文学資格コース修了。帰国後手稲溪仁会病院、2004年から沖縄県立中部病院。生命倫理修士（ユニオン大学大学院・アルバニー医学部共催）、米国内科専門医・呼吸器専門医・集中治療医学専門医。

香坂 俊 (Shun Kohsaka, MD, FACC)



慶応大学医学部卒業。St Luke's-Roosevelt Hospital Center 内科レジデント及びチーフ修了、Baylor 大学 Texas Heart 循環器フェロー修了、2008年まで Columbia 大学循環器内科スタッフ。
米国内科・循環器内科 (ABIM)、心臓移植 (UNOS)、心臓核医学 (ASNC)、心臓超音波 (ABE) 専門医。現在 慶応大学 循環器内科学教育担当 及び Columbia 大学訪問研究員。

平岡 栄治 (Eiji Hiraoka, MD)



1992年 神戸大学医学部卒業。1992年～1993年 神戸大学医学部内科研修。1993年～1994年 三菱神戸病院内科研修。1994年～1995年 兵庫県立淡路病院内科研修。1995年～1999年 神戸大学循環器内科大学院。1999年～2001年 公立豊岡病院循環器内科。2001年～2004年 ハワイ大学内科レジデント研修。2004年～ 神戸大学総合内科助教。米国内科専門医、日本内科学会専門医、日本循環器学会専門医。

藤谷 茂樹 (Shigeki Fujitani, MD)



1990年自治医科大学卒業。2000年～2003年ハワイ大学内科研修。2003年～2005年ピッツバーグ大学集中治療フェロー。2005年～2007年UCLA-VA感染症フェロー。2007年より聖マリアンナ医科大学救命救急医学教室。専門は集中治療。

矢野 (五味) 晴美 (Harumi Gomi, MD, MPH, FACP)



学歴：1993年岡山大学医学部卒業、2000年英国ロンドン大学熱帯医学大学院熱帯医学コース修了 (DTM&H)、2001年岡山大学大学院医学部博士課程衛生学卒業、02-03年ジョンスホプキンス大学公衆衛生大学院修士課程卒業 (MPH)。職歴：93年沖縄米海軍病院インターン、94年岡山赤十字病院内科レジデントを経て渡米。95-98年米国ニューヨーク、ベスイスラエルメディカルセンター内科レジデント、98-2000年テキサス大学ヒューストン校感染症科フェロー、2000-02年日本医師会総合政策研究機構主任研究員、03-05年南イリノイ大学感染症科アシスタントプロフェッサー、05年自治医科大学感染制御部講師、06年同、臨床感染症センター感染症科准教授。

山内 照夫 (Teruo Yamauchi, MD)



1988年鹿児島大学医学部卒業。聖路加国際病院内科レジデント、チーフレジデント、東京慈恵会医科大学細菌学教室専攻生を経て、1994年渡米。ハーバード大学ダナファーバー癌研究所、ジョージタウン大学ロンバーディ癌研究所でリサーチフェローおよびインストラクター、米国国立衛生研究所研究員の後、2001年よりハワイ大学にて内科レジデント、チーフレジデントを終了後、ホノルルでプライマリ・ケア開業医。2006年-09年南フロリダ大学モフィットがんセンター臨床フェロー。2007年-09年南フロリダ大学大学院医学研究修士。2009年7月より聖路加国際病院腫瘍内科医長。米国内科認定医、米国腫瘍内科専門医。

Gautam A. Deshpande, MD



Gautam A. Deshpande, MD received his undergraduate degree in Human Biology and Masters in Anthropology from Stanford University. Following a year in Japan, he returned to the U.S., where he earned an MD from Penn State University College of Medicine in 2004. He then completed an internship and residency in Internal Medicine at UC-San Diego (2007), before moving to the University of Hawaii as a Chief Medical Resident and then Assistant Professor of Medicine. Dr. Deshpande is a hospitalist physician at Kuakini Medical Center in Honolulu, Hawaii--America's only remaining Japanese-founded hospital. He now lives in Tokyo, Japan, where he is the Staff Physician for the American Embassy and a Visiting Researcher at St. Luke's International Hospital.

Gerald H. Stein, MD,FACP



Gerald H. Stein, MD, FACP, received his MD degree from the University of Pennsylvania, Philadelphia, USA, completed General Internal Medicine residency at Harvard Section Boston City Hospital and University of Florida; and Infectious Diseases and Rheumatology fellowship at University of Florida. Previously he was Director of Medical Education at Kameda Medical Center, Kamogawa, Japan. Currently he is Visiting Professor at many university and community teaching hospitals throughout Japan. When he is not consulting in Japan, he is Assistant Clinical Professor, Department of Medicine, University of Florida, Gainesville Florida USA, and Physician Reviewer, Veterans Affairs Medical Center, Gainesville, Florida.

For his CV please access his Homepage at <http://plaza.ufl.edu/jerrydoc>

<小児科>

井上 信明 (Nobuaki Inoue, MD, MPH,FAAP)



東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部 救命救急科医長。

奈良県立医科大学卒（1996年）。天理よろづ相談所病院および茅ヶ崎徳洲会病院にて初期研修と小児科研修を行う。2002年渡米後、ハワイ大学、ロマリダ大学（カリフォルニア州）にて小児科、小児救急の研修を行う。2009年には豪州マーター小児病院（クイーンズランド州）にて小児救急の臨床および外傷予防に関する疫学調査に従事し、2010年3月より現職。

米國小児救急専門医、米國小児科専門医。公衆衛生学修士（国際保健）。

植田 育也 (Ikuya Ueta, MD)



1991年千葉大学医学部卒業。1994年より Children's Hospital Medical Center(Cincinnati, Ohio)にて集中治療科フェロー、小児科シニアレジデント修了。1998年より長野県立こども病院、現在、静岡県立こども病院小児集中治療科 センター長。専門は小児集中治療医学。米国小児集中治療専門医、米國小児科認定医、日本集中治療医学会専門医。

二木 良夫(Yoshio Futatsugi, MD)



1984年新潟大学医学部卒業。沖縄県立中部病院にて小児科研修。セントルイス小児病院、アラバマ小児病院、ボストン小児病院、ピッツバーグマーシー病院にて小児科、小児神経科研修。1999年よりピッツバーグにて小児神経グループ開業、2001年より2007年までホノルルにて小児科、小児神経科開業。2008年より豊見城中央病院小児科部長。米國小児科、小児神経科専門医。

<外科>

町 淳二 (Junji Machi, MD, PhD, FACS)

外科セクション・リーダー



1977年、順天堂大学卒業。沖縄県立中部病院、イリノイ大学、ペンシルバニア医科大学、ピッツバーグマーシー病院で外科研修・研究後、1995年にハワイ大学。現在、外科教授。アメリカ外科専門認定医。専門は、一般外科・消化器外科、外科での超音波、日米の医学教育、卒後研修。

岸田 明博 (Akihiro Kishida, MD)



現職：札幌手稲溪仁会病院外科（外科系臨床研修部長，救命救急センター副センター長）
1978年 北海道大学医学部卒業。聖路加国際病院にて外科研修。1983年より米国 Michigan 州 St. Joseph Mercy 病院にて外科研修。一時日本に帰国し，1990年より米国 Pittsburgh 大学にて移植外科 Fellow ならびに Assistant professor。1994年滋賀医科大学第一外科に勤務。1997年より北海道大学第一外科，その後米国 Miami 大学外科，千葉西総合病院を経て，2003年より現職。消化器外科おもに肝胆膵外科ならびに，米国において外科におけるひとつの分野としても注目されている Acute care surgery（緊急外科手術，外傷外科ならびに Surgical intensive care を扱う）を専門。医学博士。日本外科学会認定指導医，米国外科学会認定専門医ならびに集中治療専門医。

星 寿和 (Hisakazu Hoshi, MD)




1991年滋賀医科大学卒業。滋賀医科大学第一外科にて研修後 1992年よりミシガン大学外科にてリサーチフェロー。1993年より 1996年滋賀医科大学第一外科にて臨床研修後、1996年よりトーマス・ジェファーソン大学、マーシーカトリックメディカルセンターにて外科レジデンシー、2001年よりロスウェルパークがんセンターにて腫瘍外科フェローシップを終了。2003年に帰国後滋賀医大外科助手、亀田総合病院外科医長を経て現職アイオワ大学外科、腫瘍外科部門助教授。肝胆膵、上部消化管腫瘍外科、肉腫、メラノーマを専門とする。アイオワ大学外科、学生臨床研修のディレクターを兼務


山内 英子 (Hideko Yamauchi, MD)




1987年順天堂医学部卒業。聖路加国際病院外科レジデントを経て、1994年渡米。ハーバード大学ダナファーバー癌研究所、ジョージタウン大学ロンバーディ癌研究所でリサーチフェローおよびインストラクター。ハワイ大学にて外科レジデント、チーフレジデントを終了後、ハワイ大学外科集中治療学臨床フェロー、南フロリダ大学モフィット癌研究所肉腫臨床フェロー。2009年4月より聖路加国際病院乳腺外科医長。米国外科学会集中治療専門医、米国外科認定医。

<家庭医療科>

佐野 潔 (Kiyoshi Sano, MD,FAAFP)	
家庭医療科セクション・リーダー	
<p>1978年川崎医科大学卒業、横須賀米海軍病院、大阪八尾徳洲会病院を経て83年よりミネソタ大学地域家庭医療科にて研修。85年より14年間ミネソタの農村で家庭医療専門医として開業後、99年よりミシガン大学家庭医学科助教授としてミシガン大学生・研修医そして日本人訪問研修生の家庭医療教育に携わる。その後2006～10年までの間フランスのパリアメリカ病院にて在仏日本人医療を行いながら日本における家庭医療の普及に努力している。そして2010年4月帰国して、現在静岡家庭医養成プログラムの森町家庭医療センター所長として家庭医療後期研修の携わっている。米国家庭医療学会認定医・フェローでありまたミシガン大学関連教授、滋賀医大客員教授、兵庫医大客員教授、欧州日本人医師会役員、野口医学研究所理事、日本家庭医療学研究所理事を務める。日米仏の医師免許を持つ。</p>	

岡田 唯男 (Tadao Okada, MD, MPH, DABFM,FAAFP)	
<p>鉄蕉会 亀田ファミリークリニック館山院長、家庭医診療科部長、家庭医後期専門研修プログラム／家庭医のためのマタニティケアフェローシップ／HANDS – FDF (指導医養成フェローシップ) ディレクター、米国家庭医療学認定委員会認定専門医(DABFM)、米国家庭医学会特別会員(FAAFP)、日本プライマリ・ケア学会認定医・認定指導医、公衆衛生学修士(MPH)、東海大学医学部医学科 客員准教授、東京医科歯科大学臨床准教授、WONCA Asia Pacific Region (世界家庭医機構) Executive Committee. 神戸大学医学部卒 (1995)、米国臨床留学 (1997-2002)</p>	

堤(滝沢) 美代子 (Miyoko Takizawa Tsutsumi, MD)	
<p>1997年、聖マリアンナ医科大学卒業、同病院にて初期研修、総合診療内科にて後期研修。在沖縄米海軍病院インターンを経て、東ヴァージニア医科大学 Ghent Family Practice intern, ハワイ大学 Family Medicine Residency Program 修了。現在、聖路加国際病院一般内科、千葉大学非常勤講師、米国家庭医療専門医。専門は家庭医療、総合診療</p>	

吉岡 哲也 (Tetsuya Yoshioka, MD)



1997年広島大学医学部卒業。福岡徳洲会病院にて初期研修、総合内科研修ののち喜界徳洲会病院にて離島医療に従事。名古屋大学総合診療部を経てミシガン大学家庭医学科アカデミックフェローに。2004年よりミシガン州立大学関連ジェネシス地域医療センター家庭医療学レジデント、2007年よりミシガン大学老年医学科フェロー。2008年に帰国し、恵寿総合病院に家庭医療学センター長として赴任。2009年4月よりけいじゅファミリークリニック院長、金沢大学大学院医学系研究科周産期医療専門医養成学講座客員教授。Advance Life Support in Obstetrics (ALSO) Japan のインストラクター、コースディレクターとしても活動。

< Faculty Development Course >

徳田 安春 (Yasuharu Tokuda, MD, MPH, FACP)



筑波大学大学院人間総合科学研究科 臨床医学系 教授

水戸協同病院内 筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター 総合診療科 勤務

沖縄県那覇市生まれ。沖縄県立知念高等学校卒。1988年琉球大学医学部卒。沖縄県立中部病院にて研修。沖縄県立八重山病院内科、Dartmouth Hitchcock Medical Center (GIM fellow)、沖縄県立中部病院総合内科、聖路加国際病院一般内科・聖ルカ・ライフサイエンス研究所臨床疫学センターを経て、2009年より現職。

ハーバード大学大学院 MPH、医学博士、日本内科学会認定総合内科専門医、日本プライマリ・ケア学会認定医・指導医、米国内科学会上級会員、東邦大学客員教授、聖マリアンナ医科大学客員教授。